

JAM (ジャム) は、Japanese Association of Metal, Machinery, and Manufacturing Workersの略です。「M」は金属、機械、製造業・モノづくりの三つの意味を表します。E-mail アドレス tokyo@jam-tokyochiba.jp

# JAM東京千葉 news

第262号 通巻773号  
発行所 JAM東京千葉  
〒136-0071  
東京都江東区亀戸1-10-9  
☎03-5875-4073  
FAX03-5875-4074  
編集責任者 清野 彰  
毎月1回1日発行 購読料一部65円(税込)  
組合員は組合費の中に含む  
1959年11月4日 第3種郵便物認可

## JAM東京千葉2021夏季一時金回答状況

2021年7月29日 10:00時点

一時金	単組数					年間一時金				半期一時金 (年間の半期換算含む)				
	要求	回答	集約	妥結	単純平均		加重平均		単純平均		加重平均			
					金額	月数	金額	月数	金額	月数	金額	月数		
全体	154	116	129	129	128	1,462,945	4.65	1,755,048	5.30	659,440	2.12	871,922	2.66	
地協	房総	17	14	17	17	1,180,988	4.30	1,421,577	4.01	533,682	1.94	638,277	1.99	
	総武	15	14	14	14	1,516,012	4.84	1,901,217	5.88	697,932	2.27	931,361	2.88	
	中央	56	33	40	40	39	1,556,247	4.71	1,823,212	5.58	744,426	2.22	895,872	2.75
	城南	30	25	27	26	26	1,326,118	4.37	1,621,366	4.91	585,801	1.78	836,763	2.53
	東多摩	15	10	12	13	13	1,614,735	4.94	1,852,139	4.95	814,071	2.62	947,707	2.71
	西多摩	21	20	19	19	19	1,485,587	4.66	1,741,785	4.95	630,620	2.11	849,393	2.59
規模	100人未満	72	45	54	54	54	1,174,329	4.12	1,193,816	4.00	491,052	1.69	537,224	1.84
	100-299人	35	28	29	28	28	1,496,747	4.70	1,418,800	4.51	660,820	2.23	637,479	2.15
	300-499人	10	10	10	10	10	1,566,903	5.07	1,548,674	4.98	838,675	2.59	857,333	2.63
	500-999人	16	14	15	16	15	1,377,041	4.28	1,413,822	4.23	728,183	2.31	760,169	2.30
	1,000-2,999人	9	8	9	9	9	1,696,084	4.95	1,674,241	5.01	792,621	2.44	814,478	2.49
	3,000人以上	12	11	12	12	12	1,810,832	5.52	1,857,815	5.64	915,359	2.81	930,130	2.84

## JAM東京千葉 2021夏季一時金

# 半期871,922円(2.66カ月)

## 労働条件で60項目前進回答

## 労働条件の取り組み

2021年7月29日 10:00時点

要求項目	JAM東京千葉 全体			
	要求単組	結果		
		41	前進	継続
賃金	47	16	23	8
退職金	5	2	3	
定年・継続雇用	16	6	7	3
パート・有期雇用	7	1	2	4
労働時間	46	15	20	11
労働協約	5	3	2	
安全衛生	5	2	2	1
育児介護・母性保護	5	3	1	1
職場改善	28	12	11	5
合計	164	60	71	33

JAM東京千葉の2021夏季一時金は7月29日10時現在129単組が回答を引出し、年間一時金の取り組み単組の単純平均が1,462,945円(4.65カ月)・加重平均が1,755,048円(5.30カ月)・半期取り組単組の単純平均が659,440円(2.12カ月)・加重平均が871,922円(2.66カ月)となっています。

春闘前に労働条件の改善

41単組が164項目の要求を提出し、これまでに60項目について前進回答を引き出し、71項目については継続協議となっています。労働時間に関して15項目、賃金に関して16項目、職場改善に関して12項目の前進回答が引き出されています。

書記局 高田

## JAM東京千葉特別支援友好議員 田の上いくこ都議 活動報告

# 働く仲間JAM東京千葉の皆様へ

7月4日執行の都議会議員選挙では、皆様から多大なるご協力を賜り、40,061票で3期目の当選を果たすことができました。選挙前の政治活動から、暑い日にも拘らず都議会レポートのポスティングに汗を流してくださった方、街頭演説ポスターの貼り替えなどで江戸川区内を走り回ってくださった方、また、選挙戦においては、公営掲示板ポスターの貼付から始まり、電話かけや街頭活動、選挙事務など、本当に多くの方のご支援をいただきました。選挙は決してひとりの力では成り立たず、JAM東京千葉の皆様のお力添えあっての結果だったと存じます。



選挙では、主に「ふるい東京、ふるい都議会に戻さない」ということを訴えてきました。私たちが行ってきた利権政治の掃、条例改正等による情報公開、事業精査による無駄の削減、全国初の都民提案の事業(毎年行っています)などの都政改革の成果、一方で、国会棟の全面禁煙から始まり、ペーパーレスや費用弁償の廃止、インターネット中継などの取組による都議会改革を示してきました。ふるい政党が第一党になると、ふるい都政、ふるい都議会に戻ってしまうという懸念からも有権者が投票に至ったものと考えております。しかしながら、第一党を自民党に譲ってしまったことは、大変残念であり、今後の議会運営や予算成立において大きな困難が立ちはだかることになってしまいました。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて売上減少となっている事業者のために国の月次支援金という制度がありますが、国の制度では対象月の売上が50%以上減少というハードルの高さを鑑み、東京都独自で売り上げ減少幅30-50%の事業者を対象にした支援策、また50%以上減少の事業者には都が上乗せ支援をするという取り組みを提案し、実施しております。また、目標2万人の雇用創出を掲げる「東京版ニューディール政策」は昨年度スタートし、今年度も継続して実施される予定です。

現在も新規陽性者数が過去最高を記録する、ワクチンの供給が思うように進まない等、大変な社会状況ですが、都民の命と生活を守るために尽力して参ります。今後もコロナ禍の課題をしっかりと受け止めて、政策立案して参ります。引き続きのご指導ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。

東京都議会議員 田の上いくこ

JAM東京千葉 副執行委員長 宮岡優子

先日、ちょっといい話を伺いましたので、ここでご紹介させて頂きます。



「バランス」よりも「調和」

皆さまも「バランス」という言葉を、耳にされるのがよくあると思います。例えばワークライフバランス・・・天秤を思い浮かべ、50対50で無いと・・・と、思われる方も多いと思いますが、ある単組の委員長は「バランス」よりも「調和」という言葉の方が良いのではないかと話されています。その言葉に耳にした時、私の心がスッと入って来て、心が軽くなるのを感じました。

公私において環境の変化は誰にも起こり得ます。その時々無理をしながら、均衡にする必要は無く、多少傾いていたりしても、その人にとって調和が取れている状態が大切なのではないかと、このことだと私は思いました。

新型コロナウイルス感染症の発生から一年半以上が経過し「在宅勤務、WEB会議」なども、もの言うまでも無く心身ともに調和が取れ、健康な状態であることが生活の基本であり、公私共にパフォーマンスを高めることに繋がります。その為に労働組合だからこそ、できる取組もあり、スピード感を持って進めて行く必要性を改めて感じています。

